

Eri Nakamura

中村恵理

[ソプラノ]

お菓子と娘

Okashi to Musume

バレンタイン・コンサート

Valentine Concert

Program

橋本國彦: お菓子と娘

小林秀雄: すてきな春に

シューベルト: 笑いと涙

春への想い

糸を紡ぐグレートヒェン

ガスタルドン: 禁じられた音楽

J.シュトラウスII: オペレッタ《こうもり》より

チャルダッシュ

レハール: 喜歌劇《ジュディッタ》より

「熱き口づけ」

プッチーニ:

歌劇《トスカ》より

「歌に生き、愛に生き」

ヴェルディ:

歌劇《椿姫》より

「そはかの人か〜花から花へ」

ほか



木下志寿子 (ピアノ)

2008年英国ロイヤルオペラデビュー
世界が認めた日本の歌姫 兵庫出身

2027 2/14 (日) 2:00PM 開演 (1:15PM 開場)

A 3,000円 B 1,000円 (全席指定/消費税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売
9/6(日)

チケット
予約

●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>

●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 9/4(金)

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [9/8(火)より、残席がある場合のみ]

※車いす席はお電話でのみ販売しております。※未就学児童はご入場いただけません。※プレイガイドでの取扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。
※やむを得ない事情により出演者、曲目が変更となる場合があります。予めご了承ください。 主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫県立
芸術文化センター

文化力
POWER OF
CULTURE

世界的ソプラノ歌手が贈る とっておきのバレンタイン・コンサート♡



佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017
『フィガロの結婚』

2008年英国ロイヤルオペラデビュー、翌年に当代最高のソプラノ歌手アンナ・ネトレブコの名役を務め、世界で一躍脚光を浴びた、中村恵理。以来、ドイツ名門バイエルン国立歌劇場のソリストとして専属契約、世界三大歌劇場の一つであるウィーン国立歌劇場をはじめ、欧米の主要劇場で活躍を続ける“世界が認めた歌姫”である。

日本人離れしたその歌声は「宝石のように輝く美声」と称される。軽く繊細であたたかく、豊かな声量、そして並外れた集中力から生まれる表現力で“役を生きる”中村の声は、胸に奥深く迫ってくる。

そんな中村恵理は、兵庫県川西市出身。芸術文化センターでは、英国オペラデビュー前にワンコイン・コンサートで初登場している。2017年にはソロ・リサイタル、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ『フィガロの結婚』にてスザンナ役で出演、2019年ジルヴェスター・オペラ・コンサートでは『ラ・ボエーム』の優美ヒロイン・ミミのアリアを叙情的で美しい見事な歌声を披露し客席を魅了した。

今回のプログラムは、春や恋の訪れを感じる日本歌曲から歌曲王シューベルトのドイツリートの名曲、錚々たる名歌手に歌い継がれるイタリア歌曲、オペレッタより、ヨハン・シュトラウスⅡ『こうもり』チャルダシュ（ハンガリー民俗舞曲）や、レハールの「熱き口づけ」。そして、イタリアオペラの二大巨匠プッチーニ、ヴェルディが愛したヒロインたち、『トスカ』『椿姫』の代表的なアリアをお届けする。

一度聴くと何度でも、初めて聴くと一瞬で虜になる中村恵理の“愛の歌声”に包まれるバレンタインデーをお過ごしください。



2025年 カナディアン・オペラ・カンパニー
『蝶々夫人』（カナダ）

2025年ドーセット・オペラ・フェスティバル
『修道女アンジェリカ』（イギリス）



© Julian Guidera

中村恵理 (ソプラノ) Eri NAKAMURA, Soprano

2008年英国ロイヤルオペラにデビュー。2010年から6年間にわたリバイエルン国立歌劇場の専属歌手として『魔笛』『パミーナ』『トゥーランドット』リユー、『ボリス・ゴドゥノフ』クセニアなど主要キャストを務める。また英国ロイヤルオペラ『カプレーティ家とモンテッキ家』ジュリエッタ、『ウェルテル』ソフィー、『トゥーランドット』リユー、『リゴレット』ジルダ、『蝶々夫人』蝶々さんをはじめ、ウィーン国立歌劇場、ワシントン・ナショナル・オペラ、ベルリン・ドイツ・オペラ、イングリッシュ・ナショナル・オペラなど客演多数。日本国内では、びわ湖ホール『つばめ』マグダ、新国立劇場『蝶々夫人』蝶々さん、『椿姫』ヴィオレッタなどで出演。2024年には英国『Opera Rara』の新制作録音『シモン・ボッカネグラ』（1857年版）アメリアでロール・デビューを果たした。2025年はカナディアン・オペラ・カンパニー『蝶々夫人』蝶々さん、日本フィルハーモニー交響楽団『仮面舞踏会』アメリア、英国ドーセット・オペラ『修道女アンジェリカ』アンジェリカに出演、いずれも絶賛された。2026年はNHKニューイヤーオペラコンサート、群馬交響楽団『カルメン』ミカエラ、新国立劇場『リゴレット』ジルダ、オペラ・コロラドおよびグリマーグラス音楽祭『蝶々夫人』蝶々さん等に出演を予定しており、益々の活躍が期待されている。東京音楽大学特任教授、大阪音楽大学客員教授。

木下志寿子 (ピアノ) Shizuko KINOSHITA, Piano

お茶の水女子大学文教育学部音楽科ピアノ専攻卒業。同大学院修了。2005-2006年ドイツに留学、ドレスデンのザクセン州立歌劇場において研鑽を積む。コレペティートルとして数々のオペラ公演を支えながら、声楽の共演ピアニストとしてリサイタル、コンサート等でも活躍している。これまでに新国立劇場、二期会、びわ湖ホールなどを中心に多数のオペラ公演において音楽スタッフを務め、国内外の指揮者、歌手達から絶大なる信頼を得ている。現在、新国立劇場ピアニスト、同劇場オペラ研修所講師、二期会チーフ・コレペティートル及びオペラ研修所ピアニスト。



プロムナード・コンサートってなあに？

プロムナード・コンサートとは、1830年代のイギリス・ロンドンなどで開催されていた野外コンサートのこと。お茶を飲んだり歩き回ったりしながら聴く気軽なコンサートだったようです。芸術文化センターでも、散歩の途中にちょっと立ち寄るような感覚で、気軽に楽しんでいただけるコンサートを目指して、一流アーティストの演奏を手軽な価格でお届けしています。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中！

詳しくは、<https://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

